

「枚方市子ども読書活動推進計画」(案)

についてのアンケート-集計結果-

実施目的

読書は知識を得るだけでなく感性と想像力を豊かにし、思考力や自ら考える力を養い、豊かな自己表現を育み、生きる力を生み出します。子どもの活字離れが危惧される今日、すべての子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、社会全体で読書環境を整備することが全国的な課題となっています。本市においても、このような読書活動推進の動向を受けて、学校、家庭、地域等それぞれ連携し、生きる力を育む読書活動を推進するため、今後5年間にわたる施策の基本的方向を示す「枚方市子ども読書活動推進計画」を策定するにあたり、広く市民の皆様のご意見をお伺いするためにアンケートを実施いたしました。

ご協力いただきましたアンケート調査の集計結果をまとめましたので、報告いたしますとともに今後の子ども読書活動推進の施策に反映していきたいと思っております。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

枚方市立中央図書館

1. 実施期間

平成18年3月1日(水)～平成18年3月26日(日)

2. 実施方法

1. 市ホームページのeアンケートシステムによる実施。
2. 市内図書館および分室窓口でのアンケート用紙・回収箱の設置による実施。

3. 回答件数

74件(eアンケート 20件・用紙 54件)・内ご意見記入分 46件

4. 主な意見

1. 学校での取り組みを強化する。本の充実などに向けて市が必要な援助を行う。

幼稚園・保育所・学校の図書を充実し、それぞれの施設で子どもに対して読んで聞かせたり等しながら啓発していく。

2. 子供の読書に関するアンケートや読書作文コンクールを超大々的に実施してはどうでしょうか。アンケートは最低年2回、作文コンクールは最低年3回は実施してほしい。コンクールの賞も最大数設ける。(子供達に目的意識や「夢」を持たせるため)当然、ホームページや図書館で公開する。
3. 市は財政難と存じていますが、子どもの読書に対する投資は未来への投資でもありますので、惜しまないようにしてください。
4. 地域文庫と、地域の小学校へのおはなし会、図書館でのおはなし会などのボランティアをしています。入門講座や、さらにスキルアップする為の勉強の場や、情報提供などを、図書館で整備して欲しいと思います。また、ブックスタート(保健所での検診時など)の活動も取り入れたらどうかと思いますが、それに携わる方の育成が大切と思われます。また、枚方市の読書活動をしている人達のネットワークを作りたいです。
5. 学校図書室がいまだに鍵がかかっていたり、本がすくない上に古かったりして、子どもたちが楽しめる状況にない。豊中・箕面・熊取町のように、きちんと市費による人の配置(学校図書室専属の司書)をして、公共図書館と連携できるようにする必要があります。そのための具体的な方法、計画を是非盛り込んで、1校ずつでも配置していけるようにはかってください。
6. 枚方市の図書館はポイントが多く、図書館を身近に感じているが最近の図書館には専門職という意識がどの程度あるのか?今年一月に関西医大前に、新しい分室がオープンしたが読書会はおろかお話し会すらない。子供に本を薦めるためなら、お話し会は不可欠であろう。職員に子供の本のことを聞いても心もとない限りである。このような施設を枚方市の図書館として増やしていこうとしているのなら、問題であろう。市長はじめ教育長、図書館長に一考願いたいものである。
7. 小学生の子どもがいるので、学校図書館に何度も行ったことがあります。子どもが本を借りて帰りますが、多くの本がボロボロです。一体、学校図書館の現状はどうなっているのでしょうか。計画からはわかりません。司書教諭を配置されても、忙しい先生方にこれ以上何を求められるのでしょうか。読売新聞で、民間企業に委託をし司書を配置しているという記事を読みました。ぜひ、司書をお願いしたいと思います。
8. 学校及び幼稚園、保育所(公私共)図書館の充実をする。
9. 小学低学年、中学年、高学年、中学生毎に読書感想文コンクールを開いてはどうでしょうか。本を読むことと文章を書く事の楽しみをメインとするものであり、上手、下手ではなく、色々な見方があることを紹介しあうことを目的とするものです。

10. 本がつくられる過程(印刷する所や本の編集をしている所)を社会見学して、興味を持たせる。

(小学校・中学校)子供たちに何か課題(物を作る、生物の育て方など)を出し、その参考に本を使用させる。・何か一冊の本を課題図書として読ませ、それについて討論させる。その本について絵を描かせる。・大人が自分の思い出のある本を紹介する。

11. 子ども読書活動そのものに賛同します。遊びながら読める、という環境の整備を希望しています。

12. どの子にも、本とふれ合う楽しさを感じてほしい。そのための具体的な取り組みをお願いしたいです。例えば市内で活動しているおはなし、読み聞かせのサークルや個人でボランティアされている人達の力を集めて、市内各図書館のおはなし会などの行事をふやすなど、あるいは、幼稚園や小学校でのおはなし会や読み聞かせの機会をふやすためのバックアップをするなどです。

13. 図書館に置くコミックを学習目的のものに限定するべきなのではと思います。読書をするようにという計画を進めるのであれば、コミックではなく、絵本、児童書など多数とりそろえて欲しい。限られた予算をもっと有効につかってほしい。児童書だけを集めた図書館があってもいいのではないのでしょうか。

14. 読書は良いことだと思うので子供への推進に賛成です。しかし、最近は教育がしっかりしておらず、図書館で子供が走ったり、大きな声を出しても親が叱らない。図書館の職員も他の読書をしている人に迷惑がかからないよう「しつけ」をしっかりして下さい。非常に大切な事だと思います。また別の件ですが、本を雑に扱ったり、本を失くしたりする人にも注意をお願いします。(他の人に迷惑がかかるので...)我々の税金で運営していることを忘れないで下さい。

15. 案には一応賛成ですが、あまりにもボランティアに頼りすぎているように思います。学校図書館には必ず司書を配置し、もっと蔵書を充実すべきです。汚れた古い本ではなく新しい本が必要。そのためには家庭に眠っている子どもの本の提供を受けてもよいと思います。読み聞かせなどもっともつといろいろなところでやるとか、HPで知らせていくことも必要だと思います。若い人たちがパソコンばかりに向かうのではなく、本に親しんでもらえたらと願っています。

16. 学校図書館がショボイので、子ども達に図書館がショボイって先入観がついてい
るのではないのでしょうか？以前の枚方市民会館の図書館みたいに、月替わりでテ

ーマを集めた書架があると子どもでも大人でも興味を持ちやすいのでは？最初は短編ものや、アンソロジー等はいかがでしょうか。

17. 学校図書館の充実を切に望みます。市内の小学校で11学級以下のところはほとんど無かったと思いますが、どの学校にも司書教諭・学校司書を配置し、学校図書館がいつも開いていて、子ども達の学習や先生方の教材研究に活用されるようにして下さい。専任の司書(正職員が望ましい)を置き、子ども達の本の相談等に応えられるようにして下さい。また、2)基本方向の④読書活動を推進するための体制では、読書活動に関連する施策を把握し組織化をはかるとなっていますが、情報の共有が大切だと思います。子どもの読書に関する施策(行政側の)や、イベント、サービスなど、どこでどんなことが行われているのかが、わかるようになってくると良いと思います。
18. 子供の読書を推進しようとする試み活動はとてもすばらしい事だと思います。しかし、枚方市の図書館にはコミック本が多数置いてあり、相反することだとも思います。実際に我が家の子供も本が大好きでよく読んでいましたが、コミック本が置かれるようになってからは、コミック中心に本を借りてくるのでとても残念に思っています。コミックを買う予算で、一冊でも多くの絵本、児童書を購入して下さる方が子供の為にもなると思います。
19. 現在、子供、学生は本を読まなくなってきたので、小さいときから本が身近にある環境を作ってほしいです。
20. 子どもが1日の大半を過ごす学校、幼稚園で積極的に読書活動を取り入れてもらえば、自然と読書の楽しさが、身につくのではと思います。もっと気軽に図書館に足を運べるようになるには、何かきっかけを作ってもらいたいです。一番近い図書館で魅力あるイベントがあれば行ってみたいと思います。おはなし会以外にも何かあれば。
21. 子供が本に出会う機会を増やしてほしいと思います。図書館が中心になって地域が活性化されるようになるといいなと思います。ばくぜんとした言い方ですいません。
22. ただ、読め読めというだけでなく、スタッフやボランティアの育成等を大人側からもすすめることが望ましい。地域の図書館に人が集まる(人を集める)工夫をこらすべき。
23. 子供の身近にある学校図書館の本がたいへん少ない。少なくとも学校で借りたい本がないと子供が言っている。増冊することが第1だと思う。